

## 宋代の文化

儒学	◇朱子学 〔北宋〕 〔南宋〕	宇宙の原理や人間の本質を探究し理論化した、宋学ともいう、四書『論語』『孟子』『中庸』『大学』重視 宋学の祖、訓詁学に反発し、『太極図説』で宇宙生成の原理を説く、程・程頤に受け継がれる 宋学の大成者、君臣の主従関係を重んずる「大義名分論」や、漢民族の優位を説く「華夷の別」を唱えた 朱子学に反発し、人間の心性を重視して「心即理」を唱え、 <u>        </u> 代の陽明学の源流となる
歴史		『資治通鑑』を編集、編年体による戦国時代から五代までの通史、 <u>        </u> 党の中心人物で王安石の改革に反対
絵画	・ <u>        </u> ・ <u>        </u>	宮廷の画院を中心に発達した写実的な画風、北宗画（北画）ともいう、靖康の変の <u>        </u> はこの代表者 士大夫階級の間で発達し、山水を主観的に水墨の濃淡や細い線で描く、南宗画（南画）ともいう
工芸	・白磁・青磁	景德鎮が中心的産地で、優れた磁器が焼かれた
文学	・唐宋八大家 ◇宋詞	唐から宋代に活躍した8人の古文の文章家、唐の韓愈・柳宗元、宋の欧陽脩・蘇軾・蘇轍・王安石など 蘇東坡ともよび、唐宋八大家の一人、『赤壁の賦』は三国志の古戦場をうたったもの 庶民の間で流行した歌謡で、俗語で琴などに合わせてうたう、宋代の商工業都市の発達を背景に盛んとなる
宗教	・ <u>        </u>	金代の華北で成立、道教を中心に仏教・儒教を融合したもの <u>        </u> 他に禅宗・浄土宗が盛ん
技術	◇宋代の三大発明	①火薬 ②羅針盤 ③活版印刷術 <u>        </u> イスラム世界を経てヨーロッパに伝わる（ルネサンスの三大発明）

## 元代の文化

文芸	◇元曲 『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』 ◇口語小説	庶民の間で流行した戯曲で、せりふと歌詞が口語の四幕の歌劇、元代に多くの優れた作品が出た 王実甫の作、旅の書生と宰相の遺娘の恋愛物語、元曲の最高傑作の一つ 高則誠の作、上京し科挙に合格して権勢をふるった夫と、故郷で貞節を貫いた妻が再会するまでの物語 馬致遠の作、匈奴の王のもとに嫁がされた王昭君の悲話を題材 都市の庶民の間の原型ができ、次の明代に現在の形に完成 『水滸伝』『西遊記』『三国志演義』
科学		「授時曆」を作る、イスラム曆をもとに精密な観測により1年を365.2425とした陰陽曆
宗教	・ラマ教 ・ <u>        </u>	チベットの仏教、世宗フビライがパspaを国師として保護して以来、モンゴル人にひろまる 民間仏教で、弥勒仏が下生（この世に現れ）して衆生を救済するという信仰、元末の <u>        </u> の中心勢力
東西 交流		カラコルムを訪れた、イタリアのフランチェスコ派修道士、教皇インノケンティウス4世の親書 カラコルムを訪れた、フランスのフランチェスコ派修道士、十字軍への協力を求めるルイ9世の命 カトリック教の中国への初めての布教者、1294年フビライ末年に大都を訪れ、この地で没した <u>        </u> の商人・旅行家、1275年 <u>        </u> のとき大都を訪れ、1295年帰国、『世界の記述』 モロッコ生まれのイスラム世界の旅行家、14世紀に、海路から中国に来て大都も訪れる

## 明代の文化

編纂	『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』	<u>        </u> 帝の命で編纂された、四書の注釈を集大成したもの、科学の参考書となる <u>        </u> 帝の命で編纂された、五経の注釈を集大成したもの <u>        </u> 帝の命で編纂された、中国では最大の百科事典（類書）、大部分が焼失してしまった
儒学	◇陽明学	明代に成立した儒学の一派、知行合一・心即理・到良知を強調して、実践を重視した 陽明学を確立、王守仁が本名
実学	『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』	医薬書、李時珍の作、1898種の薬物を載せる 中国農学の集大成、徐光啓の作、宣教師を通じて得られた西洋技術も記載されている 産業技術書、宋応星の作、多くの図版を使って製造や生産過程を解説している 徐光啓がアダム= シャールとともに編纂した曆法書で、清代には時憲曆として使用された
小説	『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』	唐の玄奘（三蔵法師）のインドへの西域をこえる旅行を題材に、妖怪と戦う孫悟空の活躍が中心、呉承恩作 三国時代の群雄入り乱れての争いを、蜀の国や諸葛孔明の活躍を中心に描く口語長編小説、羅貫中作 北宋末の梁山泊に、宋江を中心に集まった、108人の豪傑の活躍物語 新興成金の商人の都市生活を綿密に描写したもの
戯曲	『 <u>        </u> 』	娘が夢の中で出会って恋した書生と、現実の世界で結ばれるという伝奇的な長編戯曲
宣教師		イエズス会宣教師、西洋学術を紹介、『坤輿万国全図』（世界地図）、『幾何原本』『天主実義』など ドイツ人イエズス会宣教師、曆法改正や、大砲の鑄造などの技術を紹介

## 清代の文化

編纂	『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』	<u>        </u> 帝の命で編纂された、漢字の字書、42,000字が収められ、現在にいたるも最も完備した字書 康熙帝の命で編纂され <u>        </u> 帝のとき完成した、百科事典（類書）、1万巻を数える <u>        </u> 帝の命で編纂された、古今の書物を集めた7万9千巻の一大叢書、4つに分類して集めた
儒学	◇考証学 ◇公羊学	<u>        </u> 末清初に成立、古典の経書を確実な文献資料に基づき実証的に解釈しようとする学問 明末清初の考証学の祖といわれる学者、 <u>        </u> 明末清初には他に、顧炎武など 清代の代表的考証学者、史学に業績を残す <u>        </u> 清代には他に、戴震・段玉裁など 清末に考証学にかわり経世実用の学として成立、19世紀末の <u>        </u> 運動の康有為はその代表人物
小説	『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』	満州貴族一家の栄華と没落を描いた長編口語小説 儒林すなわち官吏・士大夫階級の腐敗を描いた長編口語小説
戯曲	『 <u>        </u> 』 『 <u>        </u> 』	唐の玄宗と楊貴妃の情愛を題材にした戯曲の傑作 短編の怪異小説集、蒲松齡の作、民話なども含まれる
宣教師		ベルギー出身のイエズス会宣教師、アダム= シャールとともに曆法や大砲の鑄造法を伝える フランス出身のイエズス会宣教師、 <u>        </u> 帝の命で、中国全土の実測図『皇輿全覧図』を完成 イタリア出身のイエズス会宣教師、遠近法などの西洋画法を紹介、バロック式の離宮「円明園」を設計